

平成30年3月定例会会議録

(平成30年3月27日)

八代市教育委員会

八代市教育委員会 3 月定例会会議録

- 【開催日】 平成30年3月27日（火）
- 【場所】 八代市千丁支所2階 庁議室
- 【出席者】 北岡 博 教育長
富田 壽人 教育委員
小嶋 ひろみ 教育委員
松永 松喜 教育委員
水田 千春 教育委員
- 【出席職員】 釜 道治 教育部長
桑田 謙治 教育部次長
中 勇二 教育部政策調整審議員
宮田 径 教育部理事兼教育政策課長
渡邊 裕一 教育部首席審議員兼学校教育課長
有馬 健一 教育部理事兼教育施設課長
廣兼 和久 生涯学習課長
高嶋 宏幸 教育サポートセンター所長
福原 透 博物館未来の森ミュージアム副館長
- 【事務局】 岩崎 伸一 教育政策課課長補佐兼教育政策係長
西村 妙子 教育政策課主任
- 【審議事項】 <議案案件>
①八市教委議第8号 第2期八代市教育振興基本計画の策定について
②八市教委議第9号 八代市教育委員会組織規則の一部改正について
③八市教委議第10号 八代市教育委員会事務専決規程及び八代市教育委員会公印規程の一部改正について
④八市教委議第11号 八代市教育委員会教育長に対する事務委任規則の一部改正について
⑤八市教委議第12号 八代市立宮地小学校遠距離通学費補助金交付要綱の制定について
⑥八市教委議第13号 八代市スクールバス運行管理要綱の一部改正について
⑦八市教委議第14号 八代市教育委員会事務専決規程の一部改正について

- ⑧八市教委議第15号 八代市立幼稚園預かり保育事業試行実施要綱の一部改正について
- ⑨八市教委議第16号 八代市教育委員会一般職の非常勤職員任用等取扱規程の一部改正について
- ⑩八市教委議第17号 八代市さかもと青少年センター条例施行規則の制定について

<報告案件>

- ①報告第3号 平成30年度予算の概要について
- ②報告第4号 八代市議会平成30年3月定例会について
- ③報告第5号 学校規模適正化の取組みについて
- ④報告第6号 平成29年度熊本県学力調査八代市結果概要について
- ⑤報告第7号 八代市いじめ防止基本方針（改訂版）について

1. 開会 (午前9時58分開会)

2. 会議録の承認 平成29年4月定例会から9月定例会まで、臨時会（10/24）、10月定例会

3. 教育長報告 北岡教育長 前回の会議から今回までに参加した行事や事業、委任された事項などの中で特に重要と思われるものについて報告

4. 議題

<八市教委議第8号 第2期八代市教育振興基本計画の策定について>

宮田教育部理事兼教育政策課長 11月教育委員会定例会において素案を示した後に、策定委員会、検討部会による審議、事務局での検討を経て、最終案がまとまったため、審議をお願いし、今回の審議をもって確定する。

(最終案について資料を使って説明)

【議案第8号 承認】

北岡教育長 文教福祉委員会への報告はどうするのか。

宮田教育部理事兼教育政策課長 八代市議会12月定例会において、前の段階のものを説明しているため、完成後のものを配付する予定である。

<八市教委議第9号 八代市教育委員会組織規則の一部改正

について)

宮田教育部理事 組織機構再編により市長部局に市長公室が設置されること
兼教育政策課長 に伴い、部次長企画調整連絡会議の名称が変更されるため、規則の一部を改正する。

質問等なし

【議案第9号 承認】

〈八市教委議第10号 八代市教育委員会事務専決規程及び八代市教育委員会公印規程の一部改正について〉

宮田教育部理事 組織機構再編により市長部局に市長公室及び総務企画部が
兼教育政策課長 設置されることに伴い、関係訓令の一部を改正する。

質問等なし

【議案第10号 承認】

〈八市教委議第11号 八代市教育委員会教育長に対する事務委任規則の一部改正について〉

宮田教育部理事 教育委員会の権限に属する事務のうち教育長に委任できない
兼教育政策課長 事項について地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定及び実務に合ったものとするため、規則の一部を改正する。

質問等なし

【議案第11号 承認】

〈八市教委議第12号 八代市立宮地小学校遠距離通学費補助金交付要綱の制定について〉

宮田教育部理事 平成30年度から宮地小学校においてスクールバスが廃止
兼教育政策課長 され、乗合タクシーへ変更することにより通学費補助金を交付するため、要綱を制定する。

松永教育委員 現在、対象児童は何名いるのか。また今後の推移を教えてください。中学生はどうしているのか。

宮田教育部理事 現在、宮地東校区から宮地小学校に通う子どもは、3人である。
兼教育政策課長 新年度からも3人である。

松永教育委員 3人は、ずっと続くのか。

岩崎教育政策課 1年生の子どもがいるため、6年生になるまで対象児童はい
課長補佐兼教育 る。
政策係長

宮田教育部理事 中学生は自転車で通学している。自転車購入の際に購入補助
兼教育政策課長 を出している。

富田教育委員 子どもたちは朴の木地区にはいないのか。

岩崎教育政策課 今はいる。朴の木地区も乗合タクシーのコースに入ってい
課長補佐兼教育 て、乗車する児童がいるなら、コースとしていく予定になっ
政策係長 ている。

宮田教育部理事 乗合タクシーの主な乗客は通学する小学生で、時間帯も協議
兼教育政策課長 しながら決めているため、通学には不都合がないようになっ
ている。

【議案第12号 承認】

〈八市教委議第13号 八代市スクールバス運行管理要綱の
一部改正について〉

宮田教育部理事 スクールバスの運行について、平成30年度から開始及び廃
兼教育政策課長 止するものがあるため、告示の一部を改正する。

質問等なし

【議案第13号 承認】

〈八市教委議第14号 八代市教育委員会事務専決規程の一
部改正について〉

宮田教育部理事 法令審議委員会案件に係る案の専決区分を教育政策課長の
兼教育政策課長 合議、教育部長専決とすることその他事務決裁手続き等を整理
するに当たり、訓令の一部を改正する。

質問等なし

【議案第14号 承認】

〈八市教委議第15号 八代市立幼稚園預かり保育事業試行実施要綱の一部改正について〉

渡邊教育部首席
審議員兼学校教育課長
現在全ての園で実施している預かり保育について、実施日を減らし、実施時間短くするため、告示の一部を改正する。

北岡教育長
実施日が1日少なくなると影響はどの程度になるか。

渡邊教育部首席
審議員兼学校教育課長
今年度の状況は、6園の中で多い園、少ない園があるが、1日最大10人から0人までであり、平均すると6園で年間28人となる。1園当たり4、5人程度の利用があっている。1日程度の週当たりの減については、保護者のニーズもあるが、おおむね影響はないだろうとの園長先生たちの意見であった。預けている保護者のほとんどが仕事をされていない方のため、迎えに来ることは可能であるという実態を考慮されてのことである。

【議案第15号 承認】

〈八市教委議第16号 八代市教育委員会一般職の非常勤職員任用等取扱規程の一部改正について〉

渡邊教育部首席
審議員兼学校教育課長
教員の支援及び児童の学習活動の充実を図るため、小学校に英語支援員を配置するに当たり訓令の一部を改正する。

質問等なし

【議案第16号 承認】

〈八市教委議第17号 八代市さかもと青少年センター条例施行規則の制定について〉

廣兼生涯学習課長
使用料の減免その他条例の施行に関し必要な事項を定めるため、規則を制定する。

富田教育委員
夏休みは利用者が多く、県外からも利用が多いと聞いている。快適に過ごせる場所であると思うが、柱に傷をつけるとか、なにか問題のあるようなことがあるのか。

廣兼生涯学習課長
現在、そのようなことはない。おおむね良好に利用されている。

【議案第17号 承認】

〈報告第3号 平成30年度予算の概要について〉

桑田教育部次長

3月定例会において可決された教育部関係予算は、平成30年度当初予算、平成29年度補正予算1件、平成30年度補正予算1件であった。平成29年度補正予算第8号は、学校子ども教育応援基金の設置に伴い、遺贈された寄附金10,000千円を基金に積み立てるための補正である。平成30年度補正予算第1号は、教育長の給料月額引き上げに伴い計上したものである。

平成30年度予算の概要について資料により説明する。

平成30年度一般会計予算総額が減額となる中、教育費は増額となっている。教育費のうち教育部所管の総額は、3,960,014千円で前年度比400,431千円増、11.2%の伸びとなっている。増額の主な理由は、小学校体育館非構造部材耐震改修事業、太田郷小トイレ改修事業、中学校空調設備設置事業、第五中プール耐震改修事業によるものである。

教育部の30年度の重点事業（新規事業）としては、小中幼稚園へのエアコン設置、小学校英語教育充実、学校子ども教育応援基金の創設、学校施設の非構造部材の耐震化がある。また、継続的な重要課題案件は、学力向上、いじめ不登校対策、特別支援教育の充実、生活困窮世帯の教育支援、学校施設の長寿命化、学校・家庭・地域の連携協力、博物館の長寿命化などがあり、これらに対する予算を計上している。

主な歳出事業について説明する。

- ・八代市学校・子ども教育応援基金事業 市内外からの寄附金等を財源に学力向上のための事業等を実施する。
- ・学校施設非構造部材耐震化事業 小学校12校、中学校5校で実施予定である。
- ・学校支援職員配置事業 30年度から英語教育の先行実施に伴い指導体制の充実を図るため、新規に英語支援員を2人配置する。
- ・太田郷小学校トイレ改修事業 老朽化対策、洋式化推進のため、12ヶ所を改修する。
- ・学校教材充実事業 教科書・指導書購入、学力テストのほか新規事業として、英語検定を希望する中学校全学年の生徒を対象に受験料1/2の補助を実施する。
- ・語学指導外国青年招致事業 30年度に小学校英語教育先行実施に伴い指導体制の充実のためALTを2人増員する。

- ・第五中学校プール耐震改修事業 プールの老朽化のため耐震化及び長寿命化を図る。
- ・学校施設空調設備設置事業 夏場の暑さ対策のため平成 30 年度から 3 年計画で小中幼稚園の普通教室等にエアコンを設置して、児童等の健康維持と学習しやすい教育環境を整備する。平成 30 年度は、設置工事のための設計を実施する。
- ・公民館施設整備事業 八代市公民館ホールの舞台照明の取替え工事を実施する。
- ・博物館特別展覧会 春季・夏季・秋季 3 回の特別展覧会を開催する。冬季展覧会は改修工事による休館のため、開催は見送る。

小嶋教育委員 英語支援員の 2 人の先生は、2 人でいろんな小学校に行くのか。

渡邊教育部首席 5 人を希望したが、2 人となった。来年度は大規模校を中心に 7 校に派遣して、ALT と併用する。ALT は全校に行く。
審議員兼学校教育課長

松永教育委員 文化振興基金は毎年入ってくるのか。

釜教育部長 文化振興課のため教育委員会の所管ではないが、イオンの売り上げの一部を寄附いただくものなので、毎年入ってきている。

釜教育部長 〈報告第 4 号 八代市議会平成 30 年 3 月定例会について〉
3 月定例会市議会では、4 人の方から質問があった。
橋本隆一議員からは、体罰についての認識と相談体制についてであった。認識については、学校教育法において明確に規定してあるので、いかなる場合も体罰を加えることはできないし、体罰による指導で子どもたちの正常な倫理観を養うことはできない。また、体罰ではないものの教員の配慮を欠いた発言は児童生徒を深く傷つけることがあり、精神的なダメージを与えることも体罰とともになくしていかなければならないとした。相談体制については、まずは学校の管理職が対応するが、教育委員会でも保護者からの相談を受ける体制を整えており、仮に体罰の事実があった場合は、被害児童生徒については、回復のために必要な対応をする。あわせて体罰を行った教員については厳正な対応をし、体罰によらない指導力を身につけることが必要であるため、教育サポート事業での支援をしっかりとし

ていかなければならないとした。体罰のない学校づくりへの取り組みについてもお尋ねいただいたため、校長園長会、学校訪問などにおいて指導しているとお答えした。

庄野末蔵議員からの質問は、スマートフォンのマナーについて、交通安全上の指導についてどのようにしているのかという趣旨であった。これまで学校では、家庭での使い方を中心に力を入れた指導をしてきたが、他県で死亡事故が発生したことを受けて交通安全教育と結びつけた指導が必要であると考えている。また、交通指導については、年度初めに通学路の確認、自転車の正しい乗り方の指導を行う等の交通安全指導の充実を図っている。スマートフォンについては、県教育委員会が作成した手引き、県警が作成した自転車利用五則等を活用しながら、携帯電話等を使用しながらの運転禁止について指導をしている。学校へのもちこみは禁止しているが、一定の所持率もあるため、危険性を今後も指導継続していくという基本姿勢をお答えした。

橋本徳一郎議員からは、教員の多忙化に関し教職員の増員、35人学級の導入について質問があった。教職員の増員については、法律により定数が決まっており、市独自で教職員を採用するには、人件費及び人材の確保等の課題があるため、現時点での実現は難しいが、講師が10%を超える現状については正規教職員の配置増を県に要望しており、少しずつ割合が増加しているところである。また、市費を投入し、特別支援教育支援員、学校図書館支援員を必要に応じて配置し、新年度からは、英語支援員の配置、ALTの増員なども行っているとした。また、35人学級の導入も教職員の増員と同様に市独自の導入は難しいとお答えした。

教職員の負担軽減については、統合型校務支援システムの導入を検討している。内容と財政の理解が必要であるため、30年度に詰めを行い、31年度の導入を目指したい。また、働き方改革の具体的な推進策としては、お盆の時期に休暇取得推進日として学校閉庁日を設定し、今後も継続して実施していく方向であるとした。

上村哲三議員は、成人式について八代市の現状についてお尋ねがあったため、式典になかなか参加せず、同窓会的な場として捉えられえているため、対応には苦慮しているが、迷惑行為などはなく和やかな開催であるとお答えした。また、障がいのある新成人についての対応については、介助者の入場の許可、車いす用のスペース確保、手話通訳者の配置を行っていること、案内状については障がいのある方へ配慮した工夫が必要と思

われるということを報告した。このほかに、エアコン設置についての質問もあった。

〈報告第5号 学校規模適正化の取組みについて〉

渡邊教育部首席
審議員兼学校教育
育課長 資料により、鏡西部小学校の進捗状況について説明
地域懇談会の際に、全世帯対象のアンケートを実施し、集計
後にその結果をもって、今後の方向性を決定することとなっ
た。地域住民、保護者代表の皆様とアンケート内容を検討し、
素案を作成し、4月に実施する予定である。

松永教育委員 以前と比べて状況はどうか。

渡邊教育部首席
審議員兼学校教育
育課長 以前は大反対であったが、現在は賛成の方もおられ、1、2
年かかるかもしれないが統合できる可能性もあるのではない
かと思う。

水田教育委員 地域の方とのやり取りが大変そうであるが、反対する方が多
いのか。通学中の方は統合に賛成なのか。

渡邊教育部首席
審議員兼学校教育
育課長 保護者や次の保護者は賛成であるが、地域活性化のために学
校が必要であると卒業生の方が反対されていることが多い。

〈報告第6号 平成29年度熊本県学力調査八代市結果概要
について〉

渡邊教育部首席
審議員兼学校教育
育課長 資料により結果の概要を説明
各学年教科別の定着率について、小学校は、4年生の国語以
外は、県平均を上回っていたが、中学校は、全ての教科におい
て県平均を下回っていた。

各教科の定着率の経年推移をみると、小学校は取組みの成果
が現れ、前回の調査よりも上昇しているが、中学校は、授業改
善の成果が現れた教科もあるが、大きな課題がある教科もあつ
た。

資料を各学校で共有し、来年度に向けた授業改善等の取組み
の充実をお願いするとともに、学校訪問や校内研修等におい
て、継続して指導助言を行い、授業改善に向けた取り組みを支
援していきたいと考えている。

水田教育委員 中学校の英語について、1年生にアルファベットを教える期
間がとても長く、その後ペースが速くなり難しくなるため、中

1 クライシスを感じていると感じた。

高嶋教育サポートセンター所長 最初は簡単というイメージで興味が高いが、文が長くなると難しくなり、家庭学習が定着していないとそのうちにわからなくなっている。中学校の授業が変わらないといけないと考える。

水田教育委員 簡単であるという意識が高いうちに、進んでほしい。

富田教育委員 学習意欲について、高校が定員割れし、勉強をしなくても合格できるというようなことがあるか。

渡邊教育部首席審議員兼学校教育課長 定員割れにより進路・キャリア教育が問われている。夢を実現するために学ぶという目的、意欲付けをするため、指導・助言を深めたい。

富田教育委員 授業を見てもらうことがよいと考える。見てあげる先生がいないのか。空き時間に交代で見ると、授業公開できればいいのではないか。

高嶋教育サポートセンター所長 学び合わないといけないと考えている。授業公開について校長・園長会でも話をしている。教科の壁を越えて、他教科でも授業を見合うなどすることが必要ではないかと考える。また、サポーターの派遣依頼をして活用してもらうこともできる。

小嶋教育委員 小学校に伸びが見られたが、学校訪問で児童一人ひとりに向かい合うように声かけが増えていると感じる。一方、中学校では、一人ひとりの伸びを認める余裕がなく、子どもたちは講義方の授業でさせられているという感じがある。意欲を高める言葉かけのスキルを上げるなど、特別支援教育の視点で行ってほしい。

北岡教育長 学力向上が最大の課題であるが、毎年目標でよいのか。先生たちが教えられるのではなく求めていくようになれば、子どもたちの意欲になり課題の克服につながる。

渡邊教育部首席審議員兼学校教育課長 〈報告第7号 八代市いじめ防止基本方針(改訂版)について〉
いじめ防止対策推進法の規定に基づき、教育委員会の附属機関として八代市いじめ防止等対策委員会を、市長の附属機関として八代市いじめ調査委員会を設置したことに伴い、八代市い

じめ防止基本方針を改訂した。改訂後の基本方針については、来年度初めに公表し、各学校へ配付する。

水田教育委員 早めにわかっているにもかかわらず、大ごとにならないと学校へ言えない保護者が多いため、早いうちに担任に言えるようにしてほしい。また、いじめをした保護者へ伝えないことが多かったり、報告が遅かったりすることが多いようだ。保護者と学校の連携を深めてほしい。

渡邊教育部首席
審議員兼学校教育課長 各学校版のマニュアルがある。未然防止、早期発見が大事であるため、保護者から担任へ報告・相談できるように連携をとる。学力と同時に最大の課題であると考えている。

5. 連絡事項 学校教育課 卒業式、浜分校閉校式について
博物館 冬季特別展覧会、春季特別展覧会について
事務局 4月定例会日程確認(4/17 10:00～)

6. 会議録署名委員の指名 松永委員・小嶋委員

7. 閉会 (午後0時10分 閉会)

平成 年 月 日

署名委員

記録者
